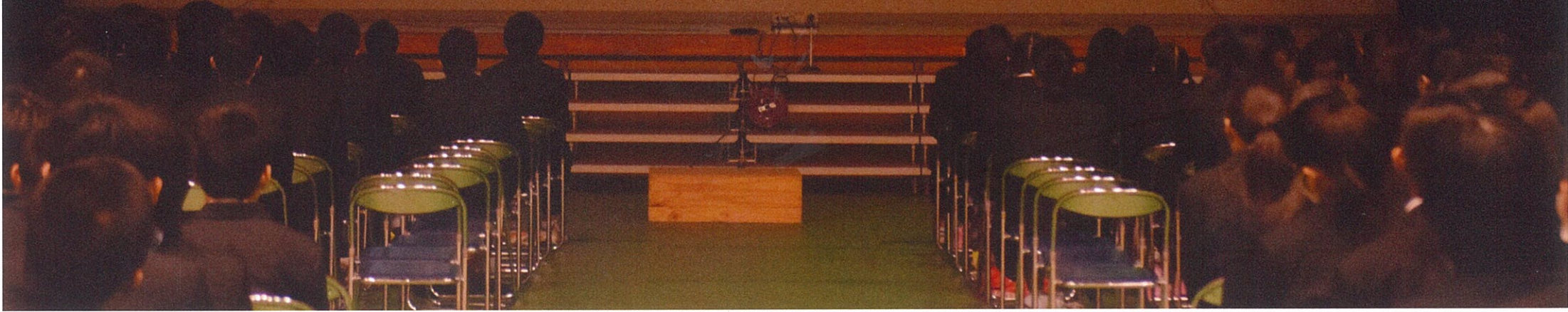


「また、必ず会おう」と誰もが言った。

喜多川泰 著 サンマーク出版



映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

卒業式以降はもう会わない人もいるかもしれないけど、この映画の題名のように、みんなが「また、必ず会おう」と言える卒業式にしたいなと思いました。この後も、いろいろな人と出会うと思うけど、その人がどんなに素晴らしい人でも別れるときはまた必ず会おうと言える人になりたいです。

神戸市立渚中学校 3年 2組 22番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

主人公のように見栄を張ったり楽になりたいから嘘をつくことは誰だってあると思います。また、それによって失敗することもあると思います。までも失敗したときに日映画でも柳下さんが言っていたように人のせいにするのか自分のせいにするのかで自分の気持ちもだいぶ変わると思いました。それに主人公は失敗したことによって良い糸屋馬更ができたので失敗が必ずしもマイナスだけではなくそれ以上のものか得られるかもしれないと思いました。

神戸市立渚中学校 2年 2組 18番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

私も、「なんとなく」で行動してしまふことがあります。でも、強い意志などが無く「なんとなく」で行動したときは、あまり良い結果は出せていなかったので、気がします。だから、何か行動を
おこすときは、しっかりと意志をもつて、自分に責任をもつようにしようと思います。

映画を見て、人との関わり大切と感じました。人と関わることで、学んだり、成長できる
ことがあると思うので、これから先、人との関わりを大切にしたいです。

神戸市立渚中学校 3年4組31番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

私は主人公だった和也が、いろいろな人に出会って、自分がどんな人だったのかわからなくていくところを見て、飛行機に乗り遅れようとしたんじゃないかと思いました。喜多川さんの話と関連づけ、「大きな失敗でも、いつか笑い話になる、それまでに時間がたつと、あのことはなかったかと思える」という言葉が思い浮かびました。今回の失敗は小さな「ウソ」から始まると、そのことに本当に後悔を抱かせる後の行動にかかっているのではないかと思います。

神戸市立渚中学校 3年 4組 2番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

人は一人ではいきていけない。いつも誰かの助けを得て生きていく。主人公はきこしいながら、
もいじりなことを教えてくれる登場人物の助けをえて、いんけん成長していく。
その様子をみながら、主人公はとても幸運でラッキーな人だと思った。そんな正しいことを
教えてくれる人がたまたまみつけたから。普通人生なんてうそつきでかして
生きていくものだと思っていた。主人公はそれをおしえてくれる人に出会えて、
きっとしょう来いい人に出会えるんだと思うようになった。

神戸市立渚中学校 2 年 3 組 22 番 名前

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

香月和也が、友達に合わせている、ラクだからうそをつく、と言っていたことが、少し自分にも重なりました。自分をつくって生きていて、自由になれていない、そんなふうに感じました。柳下さんに「自分の主人は自分」と言われ、香月和也は、きっと今の自分を見つめ返したと思います。

私もたくさんの人に出会って、いろいろな生き方、考え方に触れたいです。

神戸市立渚中学校 2年 3組 28番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

人に優しくする、というのは単に甘やかすことではなく、口癖には口癖、厳しく言うことだと思
います。嘘をつくことは、悪いことだし、いつかはバレます。ずっと嘘をつき続けていると、いつか本当
に真実を言っているのに信じてくれなくなったりもします。主人公の人が、最初は中身のな
いお礼の言葉しか言えなかったけど、いろんな人に出会い、いくうちに本当に心からお礼
が言えるようになり、いつしか人にお礼を言われる立場になっていく、という話が、すごく心に
残りました。人が成長するとき、人と会って話すことなんだな、と思いました。

神戸市立渚中学校 3年 3組 1番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

和也は、あの旅をしなければ”人”に本当に0点だったと思います。この映画をみて
“人に会おう”ということはすばらしいことだということに気が立ちました。

そして、私もトラックのおじいちゃん、空港の店員さんのように、人を助けられる人になりたい
と思いました。これから人生はまだまたフグだと思います。もっと多くの人に会おう
と思います。そのときに、自分にも相手にもまた会いたいと思いたいことがどうしても行な
いせたいと思いました。

神戸市立渚中学校 3年 3組 5番 名前

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

初めに書いておいたように、この映画は、おれとあつとをうとまたうとをつき、またかくとう
とうとをつき、たんだんとりかえしあつかひいもんにた、てしあいます。そのいくつも
の「うと」を本当にしほうとして東京にいき、甘い工盗り水た。でも、そのおかけ
で、かあやほ色んな人の優しさにあはれることができたんだと思います。子供
を失ってしまった人、親と一緒に暮せぬ子供、色々な人がこの世界には
います。それでも、皆、心にくくもりをもち、「また、必ず会おう」と思えよう
うな人がこの世界はあふれかえっていると思いました。

神戸市立渚中学校 / 年 2組 30番 名前

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

最初の時は、うそばかりついていたのに、東京からの帰り道に、さまざまな人と
出会って、かゆ、てい姿がいいなと思いました。友だちやお母さんなどにうそをつけて
東京にいたりしていたけど、さまざまなきれいな人たちの写真を撮って、いくというものがい
たりで、自分ももしそのようなことになったら、きっと、お母さんをすぐにつよて
かえらうとしてしまいます。でも最後は、お母さんからかいたお金をつかわずに、自分で「はた
らいたりしてかせいで、家にかえらうとする姿が、どんどん成長して、いいな
と思った。自分もなにかからなくなったら、自分さびの旅にでたりしてみたいなと思った。

神戸市立渚中学校 1年2組 10番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

始めはウツばかりついていた主人公が、色んな人との出会いや別れを繰り返して成長し、最後は、逆に導いていく役になっていくことにびっくりしました。喜多川さんの言っていた、「13万円」の消費浪費投資で、最後に主人公も、お金の使い道（大切なときには使う）を学び、自分の居場所もできたので、良かったなと思いました。

「また、必ず会おう」と言われるだけでなく、最後にその言葉を伝えることになって、人生は不思議だと思いました。

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

この映画は、おもしろくて、感動する映画でした。

最初は、学校での話す場面だったので題名と合わないうし、結末が

予想できなかったけど、たんだん見ていくうちに、こわい人と出会ったり

怖らしていきると二屋さんに出会ってかこよもなにかみ形にしてもらったり

とてすこいおもしろかったらトラップに乗るとき「自由」と言っていた。主人公が、写真と

とて思い出しに残っていたから写真大切だと思ひました。写真の中のみんな、笑顔でよかったです。

神戸市立渚中学校 1 年 1 組 25 番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

私は、カズヤの弱さやたよりなさが一連の旅を経ていく内に変わっていったこと、そして、行く先々の人々の心の温かさを感じて、この作品は人の愛情や優しさがあふれているなと思いました。色々な人の優しさがなければ、カズヤは1人では絶対に帰れなかっただろうと思います。時にはつらいこともあったけれど、その中でもまれていて様々なことを知り、人間的に成長していく姿に心を打たれました。

カズヤには、この旅で学んだことを忘れず、友達関係の悩みや大変さにも負けないでほしいです。

神戸市立渚中学校 1年4組 8番 名前

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

タイトルにもなっているけれど、主人公和也の会う人がみんな別れるときに「また、必ず会おう」と言っているのかとこの印象に残りました。会った人たちの中でも、柳下さんは特にいい人だと思いました。自分のトラックのうしろに勝手にはいりこみ、高校生を車にのせて、仕事をさせたりご飯をおごったりしてくれて、いろいろな場所へ行っていたからです。別れ際に「また必ず会おう」と言っていて、「絶対再会してほしい。」と一番強く思いました。主人公の旅は、たかさんのいい人に出会って、たかさん人生で大切なことを教わった、忘れられない旅になったんじゃないだろうかと思います。

神戸市立渚中学校 1年 4組 34番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

この映画はしょう害を持つ方とも一緒に見れるようにしてあって、とても良いなあと思いました。映画の中でもバリアフリーがつかわれていることを知らなかったのも、これからもバリアフリーを使った映画ができたらいいなと思います。

私が映画の中で思ったことは、最初にあんなウソをつかかなかったら良かったのに、ということです。あそこでウソをつきたくなるのは分かるけれど、自分がウソをついているのかはわかるのは、時間の問題だから、そんなウソを初めからつかかなかったら、東京まで行かなくて良かったのにと思います。

神戸市立渚中学校 / 年 5 組 19 番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

この映画を見て、人との出会い別れを知りました。自分が生きていく中でたくさんの出会いがあります。学校や公園、もしかしたらかすやと同じような出会いがあるかもしれません。人と人が出会うことは良いことです。けど、いつか別れが来ます。「会うは別れのはじめ」とよく言います。けど、また出会うと信じて生きていく姿が本当は悲しいはずなのに「また会える。」というわくわくがあります。生きていく中で、別れる友や先生に「また会おう。」と言えたらいいなと思います。

神戸市立渚中学校 / 年 5 組 23 番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

私は、この映画を見て、人との出会いを大切にしていこうと思いました。世界にはたくさんの方がいる中で、誰かと出会えることは奇跡だと思っています。それは奇跡で出会えた人とは、正直に正面から向き合うべきだと思います。学校にいる時の和也のように、うそをついて人と接していると、心から楽しいと思える時なんて、ないと思うし、せいかくの出会いもその人の嫌は所が見えてしまったりして、台無しになってしまうと思います。出会った人と、正直に向き合うことで、その人と出会えて良かった、と思えるはずです。「また、必ず会おう」という言葉は、もう会えないかもしれないのに、次も出会うと思える、良い言葉だと思います。

映画『『また、必ず会おう』と誰もが言った。』感想

主人公が高校生で年上だけと共感できる年齢かなと思い、自分の立場に置き換えてながら観ていました。見知らぬ大人達と出会いながら九州の方へ引人で帰っていく、と思うと今の自分にはできないと思いました。そして大人達が登場する度に礼儀のことや社会の厳しさが出てきてとても勉強になりました。私はまだ中学生だけとこれから大人として見られていく立場になると思うと少し不安になりました。まだまだ経験があるので、これからも学校生活をがんばっていきたいと思います。

神戸市立渚中学校 2年 /組 31番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

主人公のかずやとは、初め、うそばかりついていて、ずいとうそが重なっていくような
友達との関わり方で、楽しそうに見えて、すこづらそうでした。

そんなかずやの旅の中で、たくさんの人々に会って、たくさんを学び、

すこく成長して、最後には別人のように心が磨かれていたと思います。

本当の自分を忘れてしまっていたようなかずやに、特に柳下さんに鍛えられ、
うそもつがなしい、自分の行動かに自信を持っていたので、すこく感動しました。

神戸市立渚中学校 3年 2組 15番 名前

喜多川泰さん講演会「挑戦する勇気が未来を拓く」感想


今日の講演を聞いて、自分の夢を改めて考えましたが、今はやりたいものは特に見つかりませんでした。ただ、喜多川さんがなにも良いと言っていて、目の前にあることに集中しようと思いました。目の前にある小さなことを一生懸命していたら、いつかしたいことや夢が見つかるんじゃないかなと思いました。失敗を恐れず、挑戦することを続けていけば、報われるということを改めて感じる事ができた時間でした。

ありがとうございました。

神戸市立渚中学校 3年 2組 11番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

この映画を見て、人と人のつながりって大切だなと感じました。この映画に出くる、主人公を助ける人たちはみんな、厳しさの中にも優しさや温かさがある、とてもいい人たちだなと思いました。そんないい人たち、主人公が心を動されていくのがよかったです。私も、この映画を見て、これから生きていく中で大切なことは何かということに気付かされた気がします。この映画を見て本当に良かったなと思いました。

神戸市立渚中学校 2年 1組 11番 名前 

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

映画をみて、初めてあった人達でも、少しの間、一緒に生活をお互いだけで仲良くなれるんだなと思いました。だから、ずっと一緒にいるクラスの友達や学年の友達とかとは、もっと仲良くなれるんだなと思いました。世界には良い人がいっぱいいるんだなと思いました。今、自分達は中学2年生で、まだお金のことは自分だけではできないけど、もっとこうすることは、自分だけでできることがあるので、自分だけでできることは、ちゃんとやっていきたいと思いました。

神戸市立渚中学校 2年 4組 20番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

「人と出会う」ということを改めて、いいことだと思いました。全く知らない人に助けをもらう。「出会いはどこにあるかおからないな」とも思いました。周りにいる友達とは毎日会って、話して、遊ぶ。だけど、香月和也が出会った人は、自分の嘘がきっかけに出会った人たち。もしかしたらもう二度と会わないかもしれない。だけどみんなもう一度会いたいから、この出会いを一回きりにしたくないから、だから、「また、必ず会おう」と言ったんだと思いました。

神戸市立渚中学校 2年4組35番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

はじめは、ダメダメな男だった主人公が、旅に出て、ここまで変わる事ができて「人はすごく温かいなあ」と思いました。写真をとることがどんな意味か考えてみると「人と人の輪」を表していると思いました。写真をとるたび主人公はどんどん成長していました。これは、たくさんの人と関わったからだと思います。「また必ず会おう」という言葉は、強く印象に残りました。人と出会うことは、とてもすばらしい事だと思えました。

神戸市立渚中学校 1年3組 1番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

トラックのおじさんの優しさはとても良かったです。主人公の人を、乗せて、いろいろな所を連れて、いたり、ご飯をおごってくれたり、人間の優しさの心情がとても伝わりました。トラックのおじさんは倒れてしまったけど、最後まで優しさを見せていたのは、すごい人だなと思いました。僕は、けっきょく、福岡県に着いたのかなと思いました。普通に考えたら着かないと思います。お金もないのに、ヒッチハイクだけで行くのは、ちょっと難しいと思います。それをふまえて、続編をあたら見たいです。

神戸市立渚中学校 1年 3組 29番 名前 XXXXXXXXXX

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

この映画を観て、周りに嘘をつき、自分を偽るのは良くないと思いました。嘘をつきながら生活するのは息苦しいと思います。なので、友人とは本当の自分をさらけ出せるような関係を築くべきだと思いました。他人の目はかり気にしているのを疲れてしまふので、いい感じに肩の力を抜いて生活していきたいです。

映画「『また、必ず会おう』と誰もが言った。」感想

"ウソ"、それは自分をよく見せたり、中身があるふえに見せたり、あるいは人をかばったりするのにつまます。ですがそれは決して良いことではないと知りました。心から思ったことを伝え、そしていろいろな人との出会いと別れをくり返し、その人に向きまわること、心が通い合い、その場所に"自分のいばり"が"見える"のは良いことだと思います。でも私はやはり"常に正直である"ということではまじいと思います。それでも、何度か50分、70分最後にはちゃんと伝えていたんです。

神戸市立渚中学校 3年 1組 29番 名前